

未来医療クイズ 回答と解説

クイズ その1



昔の日本の医者

江戸時代の医者「華岡青洲(はなおかせいしゅう)」が、世界で初めて成功させたことは何でしょう？

(回答)

- B. 世界初の全身麻酔(ぜんしんますい)で手術を成功させた

【解説】青洲(せいしゅう)は安全な麻酔薬(ますいやく)を作るために、何度も実験を重ねました。母や妻が実験に参加し、副作用に苦しんだこともあったそうです。1804年、全身麻酔(ぜんしんますい)で乳がんの手術に成功しました。青洲(せいしゅう)の開発によって、痛みの少ない手術が可能になり、今の医療(いりょう)の大きな進歩につながりました。彼(かれ)の功績は、日本だけでなく世界中の医学にとって、とても大切なものです。

クイズ その2



iPS細胞(アイピーエスさいぼう)って何ができる？

iPS細胞(アイピーエスさいぼう)を使うと、どんなことができるでしょう？

(回答)

- A. 新しい薬を試すための体の細胞(さいぼう)を作る

【解説】iPS細胞(アイピーエスさいぼう)は、いろいろな体の細胞(さいぼう)に変化できる特別な細胞(さいぼう)です。病気の人の体の細胞(さいぼう)から「iPS細胞(アイピーエスさいぼう)」を作ります。そのiPS細胞(アイピーエスさいぼう)から、病気に関係する細胞(さいぼう)を作り出し、健康な人の細胞(さいぼう)と比べて、どこがちがうのかを調べます。そして、そのちがいをなくす薬のもと、すなわち治療薬(ちりょうやく)の候補を探します。治療薬(ちりょうやく)はさらにくわしく調べられ、うまくいけば人に使うための試験(臨床試験(りんしょうしけん))へと進みます。

クイズ その3



体は何からできるの？

わたしたちの体は、はじめ何からできているでしょう？

(回答)

- B. たった一つの受精卵から分かれてできていく

【解説】わたしたちの体は、たったひとつの「受精卵(じゅせいらん)」から始まります。受精卵(じゅせいらん)は細胞分裂(さいぼうぶんれつ)をくり返しながら、少しずつ数を増やし、形を変えていきます。分裂するうちに、心臓や胃、血管、皮ふなど、それぞれの役割をもった細胞(さいぼう)ができて、体のいろいろな部分になります。約40週間かけて赤ちゃんの形になり、わたしたちは生まれてくるのです。

クイズ その4



Nakanoshima Qross(ナカノシマクロス)って何？

Nakanoshima Qross(ナカノシマクロス)は何をするところでしょう？

(回答)

- A. 未来の医療(いりょう)を研究したり、新しい治療(ちりょう)を試したりする

【解説】ひとりでも多くの命を救うためNakanoshima Qross(ナカノシマクロス)に入居している病院や企業(きぎょう)、研究機関などが協力をし、みんなが集まって技術や知識を共有し、一緒に研究したり、薬を開発したりすることで、新しい医療(いりょう)を切り拓(ひら)きます。